

アル・アクサ洪水第469日目：ハリダ・ジャラル、数千人を釈放へ | イスラエル、停戦を承認 | イスラエル・メディア：我々は失敗した

The Palestine Chronicle、2025年1月17日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



停戦の発表にもかかわらず、イスラエルはガザで虐殺を続けた。(Photo: via QNN)

主要事項

*イスラエル安全保障閣僚会議の承認の後、イスラエル政府は囚人交換とガザ停戦を是認した。イスラエル・メディアの報道によると、この合意に賛成した閣僚は24人で反対した閣僚は8人だった。

*その一方で、イスラエルはラファ、ハーン・ユニス、その他の地域への空爆を続行し、多くの死傷者を生み出している¹。

*ガザ保健省によると、2023年10月7日から続いているイスラエルのガザ・ジェノサイドで死亡したパレスチナ人は46,70人で、負傷者は110,265人となった。

最新情報

1月18日 4:47am (パレスチナ時間)

*パレスチナ・メディア：今朝早朝、イスラエル軍がガザ回廊南部のハーン・ユニス西部のアル・マワシ地区の避難民のテントを空爆し、5人のパレスチナ人が死亡した。

1月18日 3:56am

*パレスチナ・メディア：今朝早朝、ガザ回廊南部のラファの中部と北部の地区をイスラエル軍が空爆した。この地区は15か月間にわたってイスラエル軍の攻撃を受けている。

¹ ガザ停戦の裏で西岸地区への攻撃が強化されている。

1月18日 3:54 am

*国連ニュース：ユニセフは続行しているイスラエル軍の攻撃のため一日に35人の子どもが死んでいると報告した。ジェームズ・エルダー報道官によれば、医療関係のデーターは2023年10月7日以降子どもの死亡者数は15,000人になったことを示している。

*イスラエル・メディア：イスラエル司法省は捕虜交換同意の第一段階に釈放するパレスチナ囚人735人のリストを発表した。

1月18日 1:34 am

*パレスチナ・メディア：昨晚、ガザ市東部のアットゥファフ地区の民間人集団へのイスラエルの空爆で、パレスチナ人3人が死亡した。Wafa（パレスチナ・ニュース&情報機関）の報道ではこの空爆は無人機で行われ、死者3人の他負傷者が数人出た。

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相はガザに関する閣僚会議で、次期大統領トランプが就任後直ちに現在止まっている兵器弾薬の発送を認可すると言った。また、停戦違反があればイスラエルが戦争へ戻ることをトランプは全面的に支持するとも言った。

*パレスチナ・メディア：囚人とその家族の世話をするパレスチナ囚人クラブの会長カドゥラ・ファレスは合意の第一段階で1,737人の囚人が釈放されると述べた。その中には長期間拘留されていた政治犯も含まれると言った。

*イスラエル・メディア：イスラエル公共放送協会（カン）はイスラエル安全保障閣僚会議が停戦の他に新しい目標を設定したことを報道した——西岸地区の治安強化である。昨晚のカンのラジオ放送によると、ガザとの捕虜交換合意を承認した後、占領地西岸地区の治安を強化する戦争目的の調整を決定した。

*パレスチナ・メディア：ハーン・ユニス北西部のアル・マワシ地区の避難民テントへのイスラエル軍の空爆で数人の避難民が負傷した。またイスラエル軍はガザ回廊南部のアバサン・アル・カビラの町を空爆した。アバサン・アル・カビラは15か月間イスラエル軍に攻撃されてきた。

1月18日 1:21 am

*イスラエル・メディア：イスラエル安全保障閣僚会議の承認の後、イスラエル政府が囚人交換とガザ停戦を承認したと、昨日カンが報道した。これに賛成した閣僚は24人で、反対した閣僚は8人であったとカンは報道した。

<https://www.palestinechronicle.com/israeli-government-approves-gaza-ceasefire-and-prisoner-exchange-deal/>

1月17日 10:44 pm

*イスラエル・メディア：イスラエル軍第162師団がガザ隣接地帯北部の防衛に当たり、ガザ師団が南部の防衛にあたる。つまり、ガザ隣接地帯に留まるのは2師団だけとなる。

1月17日 9:18 pm

*人権団体：アル・ダメール人権協会は現在イスラエル刑務所に収容されているパレスチナ囚人は10,400人と発表している。

+そのうち5,150人は2023年10月7日以降に逮捕された者。

+5,150人の内訳は、女性85人、子ども320人、起訴も裁判もない行政拘禁者3,376人である。

+イスラエルが「不法戦闘員」としてガザで逮捕した者1,886人。

+1993年のオスロー合意以前から収監されている者21人。

+2011年の捕虜交換で釈放した者を再逮捕して収監している者52人。

+無期懲役刑：600人が無期懲役刑で、アブドゥラ・バルグーチは67年服役という最長の刑である。

+健康状態：医療無視と拷問のために健康を害している囚人が多数いる。

+死亡者：1967年以降刑務所内で死亡した者は292人、ガザ戦争開始後は55人でそのうちガザで逮捕された者は35人。

+死体の隠蔽：イスラエル軍は拷問などで死亡した囚人の死体を隠している。

+2023年10月以降、ガザでの逮捕者の他にイスラエルは西岸地区で14,400人を逮捕した。

1月17日 8:34 pm

*アナドル通信社(トルコ国営通信社):ガザ政府は中部や南部でテント生活や学校に避難している避難民がガザ市や北部の自宅へ帰るのを円滑にする計画を準備している²。

1月17日 8:31 pm

*イスラエル・メディア:イエディオト・アハロノトによると、次期大統領トランプは「大統領選挙のときに応援してくれたことを認めて」、反シオニズムのサトマール派ハシディームのラビであるアーロン・タイテルバウムにホワイトハウスへの招待状を出した。サトマール派ユダヤ教徒は、世俗的シオニズムとイスラエルを、トラー³に反するとして反対し、信者たちは2023年10月7日以降ニューヨークのパレスチナ支援の抗議運動に参加してきた。

1月17日 7:48 pm

*イスラエル・メディア:イスラエル軍ラジオ放送は、停戦と捕虜交換合意の一環として、第99師団が徐々にネツァリム回廊から撤退すると報道した。

1月17日 7:42 pm

*イスラエル・メディア:チャンネル12でイスラエルの外務大臣エリ・コーエン⁴は次のように演説した。

「過去数か月間、我々は人質を一人も取り返すことが出来なかった。だから、政府の責任は大きい。ハマスに対して強力な打撃を与えてきたにも関わらず、我々はハマス殲滅という戦争目的を達成できなかった。」

*パレスチナ・メディア:19日に予定されている捕虜交換で、PFLP(パレスチナ解放人民戦線書記長アフマド・サアダトの妻アブラ・サアダトが釈放される。

1月17日 7:13 pm

*イスラエル・メディア:イスラエル軍ラジオ放送はイスラエルが人質の誰が死亡し誰が活着しているかの情報をハマスから引き出せず、人質の状況の正確な情報がないままだと報道した。

*イスラエル・メディア:イエディオト・アハロノトはパレスチナ人囚人の釈放は西岸地区の緊張を高め、パレスチナ自治政府(PA)を押しつけてハマスが強力になる結果を招く恐れがあるという社説を載せた。

*パレスチナ・メディア:ガザ医療筋は今日夜明けからのイスラエル軍のガザ回廊のいくつかの地点への空爆で20人のパレスチナ人が死亡したことを確認した。

*イスラエル・メディア:イタマール・ベン・グヴィール国家安全保障大臣は、捕虜交換のさらに詳しい内容が発表されると、懸念を表明した。釈放された囚人がエルサレムや西岸地区で自由に行動できるようになると安全保障上のリスクが高まると警告した。

*イスラエルのメディア:チャンネル12は、ベンヤミン・ネタニヤフ首相率いるイスラエルのリクード党が、交換協定と停戦の承認後、党員がメディアのインタビューに応じることを禁止したと報じた。

1月17日 7:09 pm

*パレスチナ・メディア:ガザ保健省はイスラエル軍がガザ回廊で4件の虐殺を行い、この24時間で88人を殺害、189人を負傷させたと、発表した。

*イスラエル・メディア:イエディオト・アハロノトは捕虜交換の代償は大きく、10・7の奇襲を招いたイスラエルの失敗を思い起こされると書いた。この合意を望まない人々がいたが、圧力でイスラエルは受け入れざるを得なくなったことを強調した。

*カン:イスラエル公共放送協会(カン)は、イスラエル内閣が捕虜交換合意を了承した後、占領地西岸地区の治安体制を強化するという、新たな戦争目的の追加を決定したと報道した。

*イスラエル・メディア:イスラエル・メディアは捕虜交換の第一段階で、無期懲役囚人数百人を含む、2000人のパレスチナ人が釈放されることを確認した。

*イスラエル・メディア:イスラエル軍ラジオ放送は第一段階の釈放予定者の中にPFLPの指導者ハリダ・ジャラルが含まれていることを報道した。

² ガザのメディア・オフィスのデータによれば、ガザ回廊内避難民の数は200万人以上だという。

³ モーゼが神から授かった立法モーゼ五書、「創世記」「出エジプト記」「レビ記」「民数記」「申命記」。

⁴ コーエンは2024年まで外務大臣だったが、今はエネルギー省の大臣。

1月17日 7:06 pm

*ハマス指導者の妹：イスラエル当局の第一段階釈放予定者リストの中にはハマスの指導者サレハ・アルーリの妹で、一年前にイスラエルに逮捕されたダリル・ハシブが含まれていた。

1月17日 7:05 pm

*イスラエル・メディア：チャンネル12は、PAのアッバス議長は停戦後のエジプトとの国境のラファ検問所の管理についてエジプトとの協力体制を築くために政府関係者をエジプトへ派遣して、PA 指揮のもとでの暫定的措置をガザに設ける計画を提示したことを報道した。それによると、PA の計画は原則が曖昧で、具体性がないので、エジプト側は歓迎していないという。

1月17日 3:55 pm

*アル・ジャジーラ：イスラエル安全保障閣議会議はハマスとの停戦協定を承諾した。

1月17日 2:27 pm

*イスラエル・ハヨム：イスラエル人人質はガザから赤十字へ移され、赤十字からイスラエル軍へ渡されることになる。

*ハアレツ：イスラエル刑務所に収監されている無期懲役刑563人のうち290人のパレスチナ人囚人が釈放されると期待されている。

*イスラエル・ハヨム：イタマール・ベン・グヴィル国家安全保障大臣は合意に抗議して辞職するようだが、ベザレル・スモトリッチ財務大臣は閣議にとどまるようである。

*WHO (ロイターの取材で)：停戦後2か月以内にガザで病院を稼働させる計画を練っているところだ。

*ハマスの声明：イスラエルが固守していた停戦条件を引っ込めたので、今日やっと障害がなくなった。我々はあらゆる党派を含む囚人の全面的交換を望んだ。イスラエル人人質釈放のリストは捕虜事務所が段階的に発表するであろう。

*アル・ジャジーラ記者：イスラエル軍のガザ回廊北部のジャバリアへの空爆でパレスチナ人2人が死亡した。

1月17日 10:43 am

*ベン・グヴィル (イスラエル・メディアの取材で)：ネタニヤフは首相を続けるだろうが、私はイスラエルに破局をもたらす合意に反対して政府から離れる。あの合意はイスラエルの防衛力を弱め、ガザ戦争の成果をご破算にするものだ。

*イスラエル・メディア：イスラエル人人質家族フォーラムは、人質が全員帰還するまで政府に圧力をかけるために、明日の夕方テルアビブでのデモを呼びかけた。

*イスラエル内務大臣：私は今日交渉合意を承認するように緊急の電話による閣議の開催を呼びかける。一刻一刻が大切だ。人質家族に今晚までに合意を政府が了承したと伝えなければならない。

*イスラエル・メディア：人質の家族会は第一段階で解放される予定の33人のリストを受け取った。解放は19日午後4時から始まる。

1月17日 9:58 am

*WALLA：イスラエルのニュースサイトはネタニヤフとスモトリッチの間の停戦・捕虜交換合意に関する対立が解消しつつあることを報道した。

*ガザ医療筋 (アル・ジャジーラ取材で)：今朝からのイスラエル軍のガザ空爆で18人が死亡した。

*アル・ジャジーラ特派員：今朝からのガザ北部へのイスラエル軍の散発的な空爆で6人が死亡した。

*チャンネル12：イスラエル軍はガザ付近のイスラエル領の防衛方法の変化を準備している。その計画ではガザとの国境沿いに14か所の軍事拠点を設置し、第162師団が北部方面の防衛を担当し、南部方面をガザ師団が担当する。軍事拠点はガザからのイスラエルへの侵入を防ぐ。

*米高官：匿名の米高官は、合意の承認をイスラエル政府がぐずぐずと先延ばしすると、せっかくの合意が崩れ、ハマスを元気づかせることになるかと述べた。

*アル・ジャジーラ特派員：イスラエル軍のヌセイラト難民キャンプ西部の民家の空爆跡から、パレスチナ人4人の遺体を瓦礫の中から掘り起こした。

*UNRWA：UNRWA のガザ事務所の副事務局長は、イスラエルの攻撃が続き、UNRWA への妨害活動があるけれど、現地に残って活動を継続すると言った。

*アル・ジャジーラ特派員：アル・マワシ地区の避難民テントへのイスラエル軍の空爆でパレスチナ人一人が死亡した。

*ブリンケン米 국무長官：ガザ停戦合意は1月19日に発効する。それは継続的休戦に向かう一歩である。

*アル・ジャジーラ特派員：イスラエル軍無人機の発砲でジャバリアで数人のパレスチナ人が負傷した。

*アル・ジャジーラ特派員：ガザ市北西部に対し2回イスラエル軍の空爆があった。

*イスラエル軍ラジオ放送：安全保障閣議会議がエルサレム時間で午前10時に開かれ、捕虜交換合意を承認するだろう。釈放予定のパレスチナ囚人の名前は今晚公表される。政府は1月20日前に合意を発効させるように急いでいる。

*アル・ジャジーラ特派員：今日早朝からの連続したガザ中部と南部への爆撃による死者は9人となった。

*AP電：人工衛星画像でイスラエル軍が、国際社会の反対にも関わらず、ガザから半径60キロメートルの緩衝地帯を作っていることが見える。

*ネタニヤフ首相府：ネタニヤフの交渉団は捕虜交換の進展を報告した。首相は今日中に合意を承認する安全保障閣議を開くように指示した。首相は各省庁に帰ってくる人質を迎える準備をするように指示した。イスラエルはガザ戦争の目的を実現する義務を追求している。人質を、生死にかかわらず、取り返すのも戦争目的の一つだ。